平成 30 年度（第 7 期）事業計画書
（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

１.第 6 回奨学生の採用決定（6 月予定）

（１）新奨学生を採用することとし、当財団奨学生選考委員会で決定する。

新採用大学院生　　18 名程度

（２）給与奨学生（1 名/月 45,000 円支給）

第 5 期　大学院修士課程奨学生（　　16 名）

第 6 期　大学院修士課程奨学生（予定 18 名）

２.理事会及び評議員会の開催

【理事会】

□ **平成 30 年 7 月 7 日（土）**を予定

・予想される議案　　…… ｲ.　事業報告の承認

ﾛ.　募集要項の承認

□ **平成 31 年 3 月 9 日（土）**を予定

・予想される議案　　…… ｲ.　事業計画、予算、補正予算の承認

【評議員会】

□ **平成 30 年 6 月 14 日（木）**を予定

・予想される議案　　…… ｲ.　事業報告及び決算の承認

ﾛ.　理事の改選

□ **平成 31 年 3 月 9 日（土）**を予定

・予想される議案　　…… ｲ.　事業計画、予算の承認

３.第 6 回新奨学生歓迎会（平成 30 年 7 月 7 日（土）開催予定）

第 5 期、第 6 期奨学生全員の顔合わせと、今後の奨学生同士の親交を促進するため、理事、選考委員及び事務局による歓迎会を行う。

４.奨学生の集い　（平成 31 年 3 月 9 日（土）開催予定）

在籍奨学生のほか、理事、監事、評議員及び選考委員を含めた集いの会を開催する。この会を通して、学生同士の結束を深め、社会で活躍する諸先輩との交流を通じての自己成長を促す。

また、当年度卒業奨学生に、財団卒業生であることの証として、財団名を刻印したメモリーカードを記念品として贈呈する。

５.工場見学会の開催

3 回目となる工場見学会（丸一鋼管株式会社堺工場）を、新奨学生を対象に平成 30 年 9 月 27 日（木）に計画する。

自らの専門分野だけでなく、鉄鋼企業の現場を見学することで、社会の知見を広める一助となるよう、工場見学会を検討する。

６.奨学生に対する個別指導、助言

必要に応じ、奨学生より近況報告を受けるとともに、相談があれば個別に応援、助言を行う。

７.現役、卒業奨学生との交流

これまで、奨学生間のコミュニケーションの場として、ＨＰ「奨学生の輪」を運営して

きた。しかし、なかなか上手く活用できていないので、より簡便な手段としてフェースブ

ックを立ち上げ、現役、卒業奨学生の交流サイトとして運営することを検討する。

以上